

地域協働演習での学びを活かす

和歌山大学観光学部3年 笠原沙貴

インターン先 株式会社白浜館 SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE

[地域協働演習Adv. インターンシップに参加するまで]

私は、大学1年時から地域協働セミナー、地域協働演習基礎・A・B・Cを履修し、和歌山県内の産業についての学習や、地域で取り組まれている取組への参加を行ってきました。その中で学んだ知識や、企画考案のフレームワークが社会ではどのように活かすことができるのか試してみたいと思い、インターンシップに参加しました。インターン先は、学部で学んでいることとも深く関係するホテルに行くことに決めました。

[インターン先]

株式会社白浜館

SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE

SNS宣伝で若年層集客にも力を入れている白浜のホテル。最近では改装も行われ、宿泊客だけでなく、地域住民にも愛される空間づくりを行っている。宿泊しない観光客も、インフィニティ足湯や併設カフェを楽しむことができる。



[実施目的]

- ・地域協働演習の学びを実際に活かすため
- ・観光業界の理解を深めるため
- ・社会人の働き方を学ぶため

[実施目標]

- ・柔軟な思考力を身につける
- ・会議で自分の意見を発言できるようになる
- ・自分が考案した企画をプレゼンし、形にする



[実施内容]

①フロントでの接客業務

チェックイン・アウトの手続き補助や館内・周辺観光地案内、お客様のお見送りなどを行った。その他常備しておく浴衣の準備やアメニティの補充・バスタオル準備・喫煙所の清掃など、お客様がより過ごしやすい館内づくりを行った。

→お客様への声掛けや館内案内の際に、地域協働演習ABCで行った地域への営業体験で学んだコミュニケーションスキルを活かすことができた。

②マーケティング部での新たな集客企画考案

フレームワークを使って、地域ホテルの課題や必要なもの、ターゲットの分析をして商品の考案・企画を行った。提案は総支配人や課長など様々な立場からの意見・アドバイスを取り入れて完成させた。最終的には各部署の長が集まって行われる商品造成会議で自分が考案した企画をプレゼンテーションした。

→地域協働演習基礎・ABCで行ったフレームワークを使った企画考案を形にすることができた。

③働く社員の方へのインタビュー

社会人の働き方を学ぶというインターン実施目的のために、様々な部署の社員の方にインタビューを行った。

[インターンを通しての気づき・学び・成果]

- ・どの部署の社員の方もホテルマンであるという自覚をもって仕事を行っている。
- ・観光業界は社会情勢に左右されやすい業界だが、キャンペーンを工夫して行い、集客を促進している。
- ・KEY TERRACEに関しては、遠方からの観光客だけでなく地域住民にも開かれた空間づくりを行っている。
- ・自分で考案した企画を実際に形にする段階までは達成することはできなかったが、プレゼンテーションの実施と企画検討の段階まで行うことができた。